

令和7年度 静岡市健康福祉審議会 第1回介護保険専門分科会

次第

日時：令和7年10月16日（木）

午後7時15分から9時00分まで

会場：城東保健福祉センター 3階 第1・2研修室

- 1 開会
- 2 事務局あいさつ
- 3 介護保険専門分科会会長あいさつ
- 4 協議事項
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について
（資料1、2）
- 5 報告事項
第9期介護保険事業計画進捗状況報告（資料3）
- 6 閉会

令和7年度 介護保険専門分科会 名簿

令和7年4月1日現在

No.	区 分	氏 名	所 属	職 名
1	専門委員	あおき こうへい 青木 皓平	静岡県弁護士会	—
2	専門委員	あおき よしたけ 青木 秀剛	静岡市清水医師会	—
3	専門委員	いしだ ゆきひこ 石田 幸彦	静岡市自治会連合会	常任理事
4	専門委員	いちかわ しげる 市川 茂	静岡市民生委員児童委員協議会	副会長
5	専門委員	むらまつ のぶたか 村松 伸隆	静岡市社会福祉協議会	介護事業 部長
6	専門委員	くにぎょうのりゆき 国京 則幸	静岡大学	教授
7	委員	くぼた あきら 久保田 明	市民委員	—
8	専門委員	すぎやま たかこ 杉山 隆子	清水介護保険事業者連絡会	居宅介護支援部会長
9	専門委員	たかやま はつみ 高山 初美	清水介護家族の会	会長
10	専門委員	つちかわ ゆうこ 土川 優子	静岡市薬剤師会	理事
11	専門委員	とみやす まり 富安 眞理	静岡県立大学	教授
12	委員	まつうら まりこ 松浦 まり子	市民委員	—
13	委員	やぎ しほみ 八木 志保美	市民委員	—
14	専門委員	やぎ ひろひで 八木 大英	静岡市静岡医師会	理事

(五十音順 敬称略)

介護保険専門分科会会長

静岡市健康福祉審議会

第1回介護保険専門分科会 会議資料

- 資 料 1 調査概要

- 資料 2－1 令和7年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目(案)

- 資 料2－2 令和7年度第10期介護保険事業計画作成のための実態調査
(在宅介護実態調査)調査項目(案)

- 資料 2－3 各調査項目(案)に対する委員からの御意見、御要望

- 資 料 3 第9期介護保険事業計画進捗状況報

- 参考資料1 令和7年度保険者機能保険者機能強化推進交付金・介護保険
者努力支援交付金評価報告

- 参考資料2 静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画(2023-2030)
リーフレット(令和6年3月一部改訂)

- 参考資料3 静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画(2023-2030)
冊子(令和6年3月一部改訂)

各調査の概要

計画	高齢者保健福祉計画	介護保険事業計画	
実態調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護調査	
担当課	高齢者福祉課	介護保険課	
調査期間	令和7年11月下旬から12月下旬までを予定	令和7年11月下旬から12月下旬までを予定	
目的	高齢者に関する、生活実態、健康状態及び保健福祉に係るサービス等の状況を把握	高齢者等に関する、介護保険に係るサービス等の状況及び意向等を把握	
対象	静岡市内在住の65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く) 10,000人	静岡市内在住の要介護認定を受けている方(施設入所者・居宅系サービス利用者を除く)及びその介護者 2,000人	
抽出方法	日常生活圏域ごとに一定人数を無作為抽出	日常生活圏域ごとに一定人数を無作為抽出	
調査項目	参考：前回(令和4年度)の実績 国必須項目 42問 国オプション項目 21問 県独自項目 9問 <u>市独自項目 31問</u> 計 103問	本人向け	主な介護者向け
		参考：前回(令和4年度)の実績 国必須項目 5問 国オプション項目 5問 県独自項目 0問 <u>市独自項目 16問</u> 計 26問	参考：前回(令和4年度)の実績 国必須項目 6問 国オプション項目 3問 県独自項目 0問 <u>市独自項目 8問</u> 計 17問
前回の回収状況	配布数 10,000 通 回収数 6,660 通 回収率 66.6 % 有効回収数 6,604 通 有効回収率 66,0 %	配布数 2,000 通 回収数 1,122 通 回収率 56.1 % 有効回収数 1,007 通 有効回収率 50.4 %	

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下 線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
				○	F1		あて名のご本人の方が何らかの事情により、回答できない場合は、その理由を教えてください 1. 長期入院中 2. 転居 3. その他（理由： ）	R4のとおり	基本項目
							あなた(あて名のご本人)の住所をご記入ください(番地は不要です。).	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
							このアンケートが入っていた封筒のお名前の下に書かれている【圏域番号】をご記入ください。	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
1. ご本人について							あなたの性別を選んでください。 1. 男性 2. 女性	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
							あなたの年齢を記入してください（※令和7年11月1日時点） 歳	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
							現在の要支援認定の状況（要支援度）について教えてください。（○は1つ） 1. 要支援認定は受けていない 2. 要支援1 3. 要支援	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
2. ご家族や生活状況について	○		○		問1		家族構成をお教えてください（○は1つ） 1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし（配偶者やパートナー（内縁を含む）65歳以上） 3. 夫婦2人暮らし（配偶者やパートナー（内縁を含む）64歳以下） 4. 息子・娘との2世帯 5. その他	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問2		あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ） 1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	原案のとおり	
		○			問2-1		【問2において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（○はいくつでも）。 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 2. 心臓病 3. がん（悪性新生物） 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎・気管支炎等） 5. 関節の病気（リウマチ等） 6. 認知症（アルツハイマー病等） 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患（透析含む） 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他（ ） 15. 不明	原案から修正	・選択肢9の「腎疾患（透析）」を「腎疾患（透析含む）」へ修正。 →腎疾患＝透析のような誤解を生じないようにするため。 ・問61の選択肢と同じ病気（疾患）を示す場合は、表現を同一に修正。 →回答者にとって、設問ごとに病気（疾患）の呼び方が異なるとわかりにくいため。
				○	問2-2		【問2において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の方のみ】 現在、介護・介助を受けていない理由はなんですか（○はいくつでも）。 1. 検討しているところである 2. これから検討しようとしている 3. どのようなサービスがあるのか知らない 4. どこに相談すればよいのかわからない 5. 費用負担が心配 6. 介護・介助をする人に、家の中へ入られたくない 7. その他（ ）	R4のとおり	介護・介助が必要な人がそれを受けていない理由を把握するため、追加する。
		○			問2-3		【問2において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 主にどなたの介護、介助を受けていますか（○はいくつでも）。 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者や子のパートナー（内縁を含む） 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他（ ）	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
	○		○		問3		現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ） 1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	原案のとおり	
		○			問4		お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ） 1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅） 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家 7. その他	原案のとおり	
				○	問5		現在のお住まいについて何か困っていることはありますか。（○はいくつでも） 1. 住宅が広い 2. 住宅が狭い 3. 建物や設備が老朽化している 4. 住宅に係る諸経費（※）が高い 5. 設備がバリアフリー化されていない（段差がある・手すりがない・トイレや浴室が使いにくい） 6. 家の維持管理が大変（庭の手入れなど） 7. その他（ ） 8. 特にない ※購入費・維持費・賃金等	R4から修正	生活するうえで必要不可欠な「住まい」に対する価値観やニーズの変化について把握することで、医療・介護サービス等を受けながらも安心して生活できる住まいの確保を目指すため。 委員の意見を受け、選択肢6を追加しました。
				○	問6		お住まいの周辺環境について何か困っていることはありますか。（○はいくつでも） 1. 交通などの立地が悪い 2. 買い物が不便（スーパーが遠いなど） 3. 暮らしに必要な施設が遠い（病院、福祉施設、銀行など） 4. 公園や緑地が少ない 5. その他（ ） 6. 特にない	追加	生活するうえで必要不可欠な「住まい」に対する価値観やニーズの変化について把握することで、医療・介護サービス等を受けながらも安心して生活できる住まいの確保を目指すため。 委員の意見を受け、選択肢3を追加しました。
				○	問7		熱中症対策にエアコンの利用が有効であることを知っていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	追加	静岡市は今夏、全国2位の気温を記録するなど猛暑の夏であった。その中でリスクが高まるのは、高齢者の熱中症である（熱中症搬送者の半数以上が65歳以上）。リスク低下には、エアコンの利用が効果的であるため（65歳以上搬送者のうち、約6割が住宅での発生）、今後の熱中症対策施策の検討のため、調査項目を追加する。
				○	問8		お住まいの住宅にエアコンが設置されており、適宜利用していますか。（○は1つ） 1. 設置されており、適宜利用している 2. 設置されてはいるが、利用はしていない 3. 設置されていない	追加	上同
				○		問8-1	【問8で「2. 設置されてはいるが、利用はしていない」または「3. 設置されていない」の方のみ】 エアコンが設置されているが利用していない理由、もしくはエアコンが設置されていない理由は次のどれですか。（○はいくつでも） 1. エアコンの風や温度が体に合わない 2. 経済的負担となる 3. 環境への配慮 4. 必要を感じない 5. 同居人が使用しない 6. その他（ ）	追加	上同 委員の意見を受け、選択肢1、5を追加しました。

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
3. からだを動かすことについて	○		○		問9		階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問10		椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問11		15分位続けて歩いていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問12		過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ） 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	原案のとおり	
	○		○		問13		転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ） 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	原案のとおり	
	○		○		問14		週に何回、外出していますか。（○は1つ） 1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	原案から修正	元の質問「週に1回以上外出しているか」を「週に何回、外出していますか」に変更 「週に1回以上外出しているか」の回答は、「はい」か「いいえ」になるので、4つの選択肢に対応する設問とするには「週に何回外出するか」を問うのが最適と考え、修正した。
	○		○		問15		昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ） 1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	原案のとおり	
		○				問15-1	【問15で「1. とても減っている」または「2. 減っている」の方のみ】 外出が減っている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）。 1. 病気 2. 障害（脳卒中の後遺症など） 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配（失禁など） 5. 耳の障害（聞こえの問題など） 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. 異常な暑さのため（熱中症が不安） 11. 感染症予防のため 12. その他（ ）	R4から修正	委員の意見を受け、選択肢10、11を追加しました。
				○	問16		外出する場合、外出の目的はなんですか。（○はいくつでも） 1. 散歩や買物、外食 2. 仕事（農作業なども含む） 3. 通院 4. 子・孫・友人・知人と会う 5. 地域活動（自治会、町内会、ボランティア等） 6. 学習活動（公民館やカルチャースクール等での教養・学習活動） 7. 旅行 8. その他（ ）	R4のとおり	外出についての実態を把握し、介護予防やフレイル予防（社会参加促進）等に係る市民啓発での活用を見込むため
		○			問17		外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも） 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす（カート） 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他（ ）	原案のとおり	

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下 線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
4. 食べることに ついて	○		○		問18		身長・体重を教えてください。（数字を記入してください。） 身長 cm 体重 kg	原案のとおり	
	○		○		問19		半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問20		お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問21		口の渇きが気になりますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問22		歯みがき（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画～はつらつスマイルプラン～において「歯みがき」と記載をしているため、「歯磨き」を「歯みがき」に修正する。（R4のとおり）
	○		○		問23		歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（○は1つ） ※（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です） 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	原案のとおり	
		○				問23-1	【問23で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問24		噛み合わせは良いですか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
	○		○		問25		どなたかと食事をともにする機会がありますか。（○は1つ） 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	原案のとおり	
5. 毎日の生活に ついて	○		○		問26		物忘れが多いと感じますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
							今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	削除	認知機能の低下を問う設問であるが、問26の設問で代替可能であると考えるため、削除。
	○		○		問27		バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問28		自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問29		自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問30		自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問31		自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
		○			問32		年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問33		新聞を読んでいますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問34		健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
							家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	削除	他者との関わりについて問う設問であるが、問35で代替可能であると考える。また、問47から相談を受ける相手の有無・その種別を把握できるため、削除。
		○			問35		若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問36		趣味はありますか。（○は1つ） 1. 趣味あり → 具体的に（ ） 2. 思いつかない	原案のとおり	
		○			問37		生きがいがありますか。（○は1つ） 1. 生きがいあり → 具体的に（ ） 2. 思いつかない	原案のとおり	

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下 線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
			○		問38		あなたが生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか。(○はいくつでも) 1. 仕事をしているとき(農作業なども含む) 2. 教養を身につけること(学習)をしているとき 3. 健康づくりやスポーツをしているとき 4. 家族との団らんのとき 5. 友人や知人と過ごすとき 6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき 7. 地域活動(自治会、町内会、ボランティア等)に参加しているとき 8. 旅行に行っているとき 9. 散歩や買物をしているとき 10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき 11. パソコン、インターネットをしているとき 12. 他人から感謝されたとき 13. 収入があったとき 14. おいしいものを食べているとき 15. 若い世代と交流しているとき 16. その他() 17. 特にない	原案のとおり	
				○	問39		日常生活に関する情報を得るために、最も利用する媒体はなんですか。(○は1つ) 1. パソコン 2. スマートフォン 3. 家族、友人、隣人 4. 新聞(タウン紙を含む)、雑誌 5. チラシ、折込、ダイレクトメール等 6. テレビ、ラジオ 7. 市の広報・回覧板 8. 特にない 9. その他()	R4のとおり	情報源を把握し、市民啓発事業等への活用を見込むため。最も利用する媒体を1つ選択させることで、その媒体にアプローチした効果的な情報発信が可能になる。
				○	問39-1		【問39で「3. 家族、友人、隣人」から「8. 特にない」までの方のみ】 パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を利用する上で、障害となっていることはなんですか。パソコンやスマートフォンを持っていない方は、その理由はなんですか。(○はいくつでも) 1. 操作方法がわからない・新しい操作手順を覚えにくい 2. 犯罪に巻き込まれる可能性が高まる(個人情報の流出・ネット詐欺) 3. 身体機能の低下(タッチ操作やキーボード入力が難しい・小さな文字が見づらい) 4. 経済的負担となる(端末代・通信費) 5. 家族に反対されている 6. 必要性を感じない(今までなくても生活できた) 7. その他()	追加	手続きのオンライン化などDXの普及が進むなか、更なる普及のために、デジタル機器を扱う上での課題を把握する。
				○	問40		要介護状態等となることの予防や要介護状態等の軽減または悪化の防止のために取り組みたいと思うものに○を付けてください(○は3つまで)。 1. 生活習慣病予防などの健康づくり(しずおか「カラダにeat75」事業など) 2. 転倒予防等の筋力向上のための運動(しぞ〜かでん伝体操など) 3. 食生活や栄養改善(元気で長生き栄養講座など) 4. 歯や口の健康(歯っぴー☆スマイル体操など) 5. デイサービスなどの施設に通う(介護予防デイサービスなど) 6. 地域の人たちとの交流(S型デイサービスなど) 7. フレイル(※)予防(フレイルチェックなど) 8. その他() ※加齢に伴い身体や精神・心理面に様々な低下現象がみられる状態	R4のとおり	介護予防に係る意識を把握することにより、市の施策につなげるため

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下 線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
6. 地域での活動について					問41		以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ※①～⑧に、それぞれ当てはまる番号に○をつけて回答してください 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
	○		○			①	ボランティアのグループ	原案のとおり	
	○		○			②	スポーツ関係のグループやクラブ	原案のとおり	
	○		○			③	趣味関係のグループ	原案のとおり	
	○		○			④	学習・教養サークル	原案のとおり	
	○		○			⑤	（S型デイサービスなど）介護予防のための通いの場	原案のとおり	
	○		○			⑥	シニアクラブ・老人クラブ	原案のとおり	
	○		○			⑦	町内会・自治会	原案のとおり	
	○		○			⑧	収入のある仕事	原案のとおり	
	○		○		問42		地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ） 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	原案のとおり	
	○		○		問43		地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ） 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	原案のとおり	
			○		問44		今後やってみたいと思うものは何ですか（○はいくつでも）。 1. 働くこと 2. 学習や教養を高めるための活動 3. 健康づくりやスポーツ 4. 趣味の活動 5. シニアクラブ・老人クラブ活動 6. 社会奉仕活動(ボランティア・高齢者の生活支援など) 7. 町内会、自治会の活動 8. その他（ ） 9. 特にない	原案のとおり	
7. 就労について		○			問45		現在のあなたの就労状態はどれですか。（○はいくつでも） 1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤（フルタイム） 4. 非常勤（パート・アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中 7. その他	追加	国の調査項目追加に伴い、追加
		○				問45-1	【問45で「2. 引退した」の方のみ】 あなたはいつ引退しましたか。（数字を記入してください。） 1. 昭和__年 2. 平成__年 3. 令和__年	追加	国の調査項目追加に伴い、追加
				○		問45-2	【問45で「3. 常勤（フルタイム）」または「4. 非常勤（パート・アルバイト等）」または「5. 自営業」または「6. 求職中」の方のみ】 何歳ころまで働きたいですか。（○は1つ） 1. 70歳 2. 75歳 3. 80歳 4. 働ける限りずっと	R4のとおり	就労に関する実態を把握し、就労促進施策等への活用を見込むため。
				○		問45-3	【問45で「4. 非常勤（パート・アルバイト等）」または「5. 自営業」の方のみ】 現在、どのくらい働いていますか。（○は1つ） 1. 週30時間以上 2. 週20時間以上週30時間未満 3. 週20時間未満 4. その他（ ）	R4のとおり	就労に関する実態を把握し、就労促進施策等への活用を見込むため。
				○		問45-4	【問45で「6. 求職中」の方のみ】 今後、どのくらい働きたいですか。（○は1つ） 1. フルタイム（正社員） 2. 週30時間以上 3. 週20時間以上週30時間未満 4. 週20時間未満 5. その他（ ）	R4のとおり	就労に関する実態を把握し、就労促進施策等への活用を見込むため。

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
8. たすけあいについて	○		○		問46		あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問47		反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問48		あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問49		反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
		○			問50		家族や友人・知人以外で、 心配事や病気など 何かあったときに相談する相手を教えてください。（○はいくつでも） 1. 自治会・町内会・老人クラブ（シニアクラブ） 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 7. そのような人はいない	原案のとおり	委員の意見を受け、設問文を修正しました。
		○			問51		この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（○は1つ） 1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上	原案のとおり	
				○	問52		地域包括支援センター（※）（愛称：まるけあ）を知っていますか。（○は1つ） ※高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・保健・医療・福祉サービスを一体的に支援する機関で、市内に計30か所に設置されています。 1. 知っている 2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない 3. 地域包括支援センターの存在を知らない	R4のとおり	地域包括支援センターの認知度は「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の成果指標の一つであるほか、効果的な周知方法の検討材料とするため。
				○	問52-1		【問52で「1. 知っている」または「2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の方のみ】 地域包括支援センターをどこで知りましたか。（○はいくつでも） 1. 市ホームページ 2. 広報しずおか「静岡気分」や静岡市のパンフレット 3. 医療機関からの紹介 4. 保健福祉センターからの紹介 5. 家族・友人・知人からの紹介 6. 地域包括支援センターから直接連絡や訪問を受けて 7. 民生委員や自治会・町内会の役員等からの紹介 8. 地区社会福祉協議会やボランティアからの紹介 9. 地域の集まり（S型デイサービスなど）で 10. その他（ ）	R4のとおり	地域包括支援センターの認知度は「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の成果指標の一つであるほか、効果的な周知方法の検討材料とするため。 委員の意見を受け、選択肢3、5を追加しました。
				○	問52-2		【問52で「1. 知っている」または「2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の方のみ】 あなたのお住いの地域を担当する地域包括支援センターがどこにあるか知っていますか。（○は1つ） 1. 知っている 2. 知らない	R4のとおり	地域包括支援センターの認知度は「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の成果指標の一つであるほか、効果的な周知方法の検討材料とするため。
				○	問53		「高齢者虐待」を発見したときに、どのような機関に相談・通報等しますか。（○はいくつでも） 1. 市役所や区役所の窓口 2. 保健所や保健福祉センター 3. 地域包括支援センター 4. 民生委員 5. 自治会・町内会の役員等 6. 家族・親戚・知人 7. 警察 8. その他（ ） 9. 相談しない・できない 10. わからない	R4のとおり	高齢者虐待に関する相談先の実態を把握し、対応策を検討するため

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下 線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
9. 健康について	○		○		問54		現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ） 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	原案のとおり	
				○	問55		健康に関することをなんどでも相談できるような、身近で頼りになる医師（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ） 1. いる 2. いない	R4のとおり	医療課題を認知するにあたり、かかりつけ医の利用状況を把握するため
	○		○		問56		あなたは、現在どの程度幸せですか。（○は1つ）（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください。） とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ	原案のとおり	
	○		○		問57		この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
	○		○		問58		この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問59		お酒は飲みますか。（○は1つ） 1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	原案のとおり	
	○		○		問60		タバコは吸っていますか。（○は1つ） 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	原案のとおり	
	○		○		問61		現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも） 1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症（脂質異常） 7. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎・気管支炎等） 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓（腎疾患（透析含む）など）・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） 11. 外傷（転倒・骨折等） 12. がん（悪性新生物） 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症（アルツハイマー病等） 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他（ ）	原案から修正	・選択肢9の「腎疾患（透析）」を「腎疾患（透析含む）」へ修正。 →腎疾患＝透析のような誤解を生じないようにするため。 ・問2-1の選択肢と同じ病気（疾患）を示す場合は、表現を同一に修正。 →回答者にとって、設問ごとに病気（疾患）の呼び方が異なるとわかりにくいため。
			○		問62		あなたは、ご自分の健康のためにどのようなことを心がけていますか。（○は3つまで） 1. 休養や睡眠を十分にとる 2. 食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど） 3. 歯や口の中を清潔に保つ 4. 健康診断などを定期的に受ける 5. 酒、タバコを控える 6. 散歩やスポーツをする 7. 地域の活動に参加する 8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ 9. 気持ちをなるべく明るく持つ 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う 11. 仕事をする 12. その他（ ） 13. 特に心がけていない	原案のとおり	
			○		問63		あなたは、健康について、どのようなことが知りたいですか。（○は3つまで） 1. がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について 2. 望ましい食生活について 3. 運動の方法について 4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて 5. 寝たきりや介護の予防について 6. 歯の健康について 7. 認知症の予防について 8. うつ病の予防について 9. その他（ ）	原案のとおり	

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
				○	問64		過去1年間に健康診断を受診しましたか。（○は1つ） 1. 受けている 2. 受けていない	R4のとおり	特定健診・後期高齢者健診の受診率が低いことから、未受診の理由を分析することで、受診につなげるため委員の意見を受け、設問文を修正しました。
				○		問64-1	【問64で「2. 受けていない」の方のみ】 受けていない理由は何ですか？（○はいくつでも） 1. かかりつけ医に通院している。 2. 健康診断の受け方がわからない。 3. 病院にいきたくない。 4. 高齢なので受ける意味がない。 5. あちこち悪いことは自覚しているから。 6. これといった症状がなく、受診の必要性を感じない 7. その他（ ）	R4のとおり	特定健診・後期高齢者健診の受診率が低いことから、未受診の理由を分析することで、受診につなげるため委員の意見を受け、選択肢6を追加しました。
				○	問65		静岡市には高齢者を対象として介護予防の運動、サークル活動や各種教養講座を実施している施設である老人福祉センター、老人憩の家や世代間交流センターがありますが、これらの施設を利用したことがありますか。 ※（老人福祉センター）鯨ヶ池、長尾川、小鹿、用宗、清水中央、船越、折戸、蒲原（老人憩の家）清開きらく荘、東部（世代間交流センター）北部、南部、由比 1. 日常的に利用している 2. 利用したことがある（数回程度） 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らない 5. 知らなかったが興味がある	R4のとおり	老人福祉センター等の利用状況を把握し、今後の施設管理計画等に活用するため
10. 認知症について	○		○		問66		認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
	○		○		問67		認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
				○	問68		認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」を知っていますか。（○は1つ） 1. 知っている 2. 知らない	R4のとおり	かけこまちの認知度及びかけこまちの関与度の他項目への影響を把握したいため
			○		問69		あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。（○は1つ） 1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない 4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない	追加	県調査項目として、追加
11. 介護保険サービスについて				○	問70		もし、あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。あなたの考えに近いものに○を付けてください。（○は1つ） 1. なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい 2. 介護サービスを使いながら自宅で介護してほしい 3. 介護施設などに入所・入居したい 4. 要介護度が重度化したら介護施設等への入所・入居を検討したい 5. その他（ ） 6. わからない	R4のとおり	介護に関する意識を把握し、在宅医療・介護連携推進施策での活用を見込むため
				○	問71		もし、あなたの家族に介護が必要となった場合、どのような介護をしたいと思いますか。あなたの考えに近いものに○を付けてください。（○は1つ） 1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい 2. 介護サービスを使いながら自宅で介護したい 3. 介護施設などに入所・入居させたい 4. 要介護度が重度化したら介護施設等への入所・入居を検討したい 5. その他（ ） 6. わからない	R4のとおり	介護に関する意識を把握し、在宅医療・介護連携推進施策での活用を見込むため

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
				○	問72		在宅での介護を続けるために、特に必要だと思うことは何ですか。（○はいくつでも） 1. 家族や親族の協力があること 2. 近所の人やボランティアに手伝いを頼めること 3. 日頃から本人が心身の衰えを防ぐ介護予防を心がけること 4. 介護者同士が交流できる場で心身のリフレッシュができること 5. 介護保険制度やサービス事業所等についての情報が得やすいこと 6. 介護全般についての身近な相談窓口があること 7. 介護用品（紙おむつ等）の支給があること 8. 緊急の場合等に安心して介護保険サービスが利用できること 9. 緊急の場合等にかかりつけ医等から医療的なアドバイスを得られること 10. 認知症についての身近な相談窓口があること 11. 認知症高齢者の徘徊等を地域で見守る体制の強化 12. 認知症の方を介護している方向けの講習会や講演会 13. 仕事と介護の両立を支える職場の理解・制度があること（介護休業・時短・在宅勤務など） 14. 介護保険外の生活支援サービスが利用しやすいこと（家事代行・買い物支援・送迎など） 15. その他（具体的に） 16. 特になし	R4のとおり	介護に関する意識を把握し、在宅医療・介護連携推進施策での活用を見込むため 委員の意見を受け、選択肢13、14を追加しました。
12. 今後の暮らしについて				○	問73		あなたは、高齢期を快適に暮らすためには、どのような施策が重要だと思いますか。（○はいくつでも） 1. 雇用・就業機会の確保 2. 生きがいづくり、社会参加活動の推進 3. 暮らしやすいまちづくり（段差の解消やわかりやすい標識の設置など） 4. 交通手段の充実 5. 高齢者に配慮した住宅の整備 6. 病院や診療所などの医療機関の充実 7. ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実 8. 特別養護老人ホーム等の施設の整備 9. 健康づくりに対する支援 10. 虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る対策 11. 生活相談窓口の整備、充実 12. 身近な地域による見守り・支え合い活動の推進 13. 子どもとのふれあいなどの世代間交流の促進 14. 寝たきりや認知症にならないための予防対策 15. その他（）	R4のとおり	高齢期を快適に暮らすうえでのおおまかなニーズを把握し、市の施策につなげるため 委員の意見を受け、選択肢4を追加しました。
				○		問73-1	【問73で「11. 身近な地域による見守り・支え合い活動の推進」の方のみ】 具体的にどのような施策が必要だと思いますか。（○はいくつでも） 1. 定期的な訪問 2. 地域の高齢者が集まる場 3. 話し相手 4. 掃除、ゴミ出しなどの生活援助 5. 買物の支援 6. その他（）	R4のとおり	圏域とのクロス集計により、圏域ごとの地域の支え合い施策に関するニーズを把握し、生活支援体制整備等における活用を見込むため。
				○	問74		万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。（○は1つ） 1. 病院などの医療施設 2. 高齢者向けのケア付き住宅 3. 自宅 4. 特別養護老人ホーム、認知症グループホームなどの福祉施設 5. 子どもの家 6. 兄弟姉妹など親族の家 7. その他（） 8. わからない	R4のとおり	A C Pや終末期医療等に係る施策を検討していく上で参考とするため。
				○	問75		万一、あなたの家族が治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎させてあげたいですか。（○は1つ） 1. 病院などの医療施設 2. 高齢者向けのケア付き住宅 3. 自宅 4. 特別養護老人ホーム、認知症グループホームなどの福祉施設 5. 子どもの家 6. 兄弟姉妹など親族の家 7. その他（） 8. わからない	R4のとおり	A C Pや終末期医療等に係る施策を検討していく上で参考とするため。
				○	問76		孤立死（誰にも看取られることなく、なくなった後に発見される死）について、身近な問題だと感じますか。 （○は1つ） 1. 身近な問題だと思う 2. やや身近な問題だと思う 3. どちらともいえない 4. あまり身近な問題だとは思わない 5. 身近な問題だとは思わない	R4のとおり	終活に係る市民意識を把握するため

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下 線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
							あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことはありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	削除	県調査項目の内容が変更されたため、削除。 代わりに問77を追加。
							あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか。（○はいくつでも） 1. ご家族 2. 友人 3. 医療介護関係者 4. その他（ ） 5. 話し合ったことはない	削除	県調査項目の内容が変更されたため、削除。 代わりに問77を追加。
							【問78で1.「ご家族」、2.「友人」、3.「医療介護関係者」、4.「その他」の方のみ】 ご自身の死期が迫ったときに受けたい世話や治療について、どの程度話し合いをされていますか。（○は1つ） 1. 詳しく話し合ったことがある 2. 少し話題にしたことはある 3. 話し合ったことはない	削除	問77で代替可能であるため、削除
			○		問77		病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（※）と話したことはありますか。（○は1つ） ※医師や看護師、ケアマネージャー等 1. 話したことがある 2. 話したいと思うので、これから話したい 3. 話したいと思うが、話すきっかけがない 4. 話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない 5. 話したいと思う、話す相手がいない 6. 話したいとは思わない 7. 考えたことがない	追加	県調査項目の内容が変更されたため追加。
				○	問78		あなたは、終活のために何か取り組んでいることはありますか。（○はいくつでも） 1. 終活について家族と話し合うこと 2. エンディングノートやメモを作成すること 3. 遺言書を作成すること 4. 医療や介護の希望をまとめること 5. 財産の管理や整理をすること 6. 自分の葬儀の希望（費用や式場）をまとめておくこと 7. 考えてはいるが特に取り組んでいない 8. 特に考えていない 9. その他（ ）	追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。
				○	問78-1		【問78で「7. 考えてはいるが特に取り組んでいない」または「8. 特に考えていない」の方のみ】 その理由をお聞かせください。（○はいくつでも） 1. まだ準備を始める年齢や健康状態ではないから 2. どのように始めたら良いかわからないから 3. 終活について親族や知人と話しにくいから 4. 費用負担が心配であるから 5. 親族や知人に任せているから 6. 時間がなく後回しにしている 7. 公的な相談窓口や情報がわかりにくいから 8. ネガティブなイメージがあり考えたくないから 9. その他（ ）	追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。
				○	問79		終活を始める・進める上で、あなたが最も欲しい支援・情報はどれですか？（○は1つ） 1. 市役所などの無料相談窓口（対面） 2. 医療・介護現場での説明（かかりつけ医など） 3. エンディングノート等の配布・ダウンロード資料 4. ワークショップ・講座（説明会・書き方教室） 5. 手続き代行や専門家の紹介（遺言作成・相続相談の紹介） 6. 葬儀・費用に関する情報（費用例や簡易葬の案内） 7. インターネットでのセルフチェック・オンライン相談 8. その他（ ）	追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。

分野	R7				設問			事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
						(問80)	あなたは認知症等で判断能力が不十分になった場合や死が近い場合に備えて、どのように意思表示をしたいと思いますか。又は、これからしようと思いますか。（○はいくつでも） 1. 口頭で家族に伝える 2. 文字で家族に伝える（文字やエンディングノートなど） 3. 生前事務委任契約（※1）を結ぶ 4. 任意後見契約（※2）を結ぶ 5. 死後事務委任契約（※3）を結ぶ 6. 負担付遺贈・負担を付けた遺言（※4）を作成する 7. その他（ ） 8. 必要性は感じるが、決めていない 9. まだ考えていない ※1 生前事務委任契約とは、生前判断能力が十分にあるうちから、日常生活をサポートしてもらったり、入院や施設入居の際に身元保証人になってもらったりするものをいいます。 ※2 任意後見契約とは、認知症により判断能力が衰えてきた場合に、あらかじめ契約により代理権が与えられた範囲で、本人に代わって法律行為を行うことができるようにするものをいいます。 ※3 死後事務委任契約とは、葬儀の実施等の死後事務を委任する契約のことをいいます。 ※4 負担付遺贈・負担を付けた遺言とは、死後に財産を相続する代わりに、一定の義務（誰かの面倒を見る等）を負担させるものをいいます。	削除	終活に係る市民意識を把握する項目だが、問78、79で代替可能であるため。
							高齢者の保健や福祉に関することで、市にご意見、ご要望等がございましたら、自由にお書きください。	削除	本調査は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握し、地域の課題を特定して次期計画に反映するために実施する。このことから、設問は具体化された質問を中心に構成し、クロス集計などの分析により課題を明確化できる形式とするため。 なお、次年度の計画策定時にパブリックコメントを実施し、次期計画案に対して市民へ意見を伺う予定。

○の数

42214834

計145

42

問数	42	21	6	34	計	103
----	----	----	---	----	---	-----

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづくり計画
	国 必 須	国 オ フ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
1. ご本人について	○		○		1	問1		現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（○はいくつでも）。 1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他（ ）	原案のとおり		
								調査対象者様の性別・年齢・要介護度などについて教えてください。 （①②③⑤は○は1つ、④はいくつでも）	削除		
								性別 1. 男性 2. 女性	削除	削除 抽出データとの突合により把握	
								年齢 1. 65歳未満 2. 65～69歳 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80～84歳 6. 85～89歳 7. 90歳以上	削除	削除 抽出データとの突合により把握	
								要介護度 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない	削除	削除 抽出データとの突合により把握	
	○		○		2	問2		家族構成を教えてください。（○はいくつでも） 1. ご本人のみのひとり暮らし 2. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 3. 子ども 4. 子どもの配偶者やパートナー 5. 孫 6. 親（配偶者やパートナーの親を含む） 7. 兄弟姉妹（配偶者やパートナーの兄弟姉妹を含む） 8. その他	原案から修正（R4のとおり）	世帯構成をより詳細に把握するため回答の選択肢を細分化。	
				○	3	問3		同居している方の年齢を教えてください。（○は1つ） 1. 全員65歳以上 2. 自分以外に65歳以上の者がいる 3. 全員65歳未満	R4のとおり	世帯の年齢構成を把握するため。	
								圏域番号 このアンケートが入っていた封筒のお名前の下に書かれている【圏域番号】をご記入ください	削除	削除 抽出データとの突合により把握	
								ご住所（番地は不要です。） 1. 葵区 2. 駿河区 3. 清水区 丁目 例）呉服町1－30－1は呉服町と1丁目のみ記入	削除	削除 抽出データとの突合により把握	
		○			4	問4		現在抱えている傷病がありますか。（○はいくつでも） 1. 脳血管疾患（脳卒中） 2. 心疾患（心臓病） 3. 悪性新生物（がん） 4. 呼吸器疾患 5. 腎疾患（透析を含む） 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など） 7. 膠原病（関節リウマチ含む） 8. 変形性関節疾患 9. 認知症 10. パーキンソン病 11. 難病（パーキンソン病を除く） 12. 糖尿病 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） 14. その他（ ） 15. なし 16. わからない	原案から修正	腎疾患＝透析のような誤解を生じないようにするため。	

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづくり計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
2. 介護サービスの利用状況について	○		○		5	問 5		介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）を利用していますか（○は1つ） 1. 最近（令和7年10月中に）利用した ⇒ 問6へ 2. 以前（令和7年10月より前に）利用していた ⇒ 問7へ 3. 利用していない ⇒ 問8へ	原案から修正（R4のとおり）		
					6	問 6		以下の介護保険サービスについて令和7年10月の1か月間の利用状況を教えてください。			
	○		○		7		①	訪問介護（ホームヘルプサービス）の1週間あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		8		②	訪問入浴介護の1週間あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		9		③	訪問看護の1週間あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		10		④	訪問リハビリテーションの1週間あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		11		⑤	通所介護（デイサービス）の1週間あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		12		⑥	通所リハビリテーション（デイケア）の1週間あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		13		⑦	夜間対応型訪問介護の1週間あたりの利用回数（※訪問のあった回数を回答）（○は1つ） 1. 利用していない2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	原案のとおり		
	○		○		14		⑧	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用の有無（○は1つ） 1. 利用していない2. 利用した	原案のとおり		
	○		○		15		⑨	小規模多機能型居宅介護の利用の有無（○は1つ） 1. 利用していない2. 利用した	原案のとおり		
	○		○		16		⑩	看護小規模多機能型居宅介護の利用の有無（○は1つ） 1. 利用していない2. 利用した	原案のとおり		
	○		○		17		⑪	ショートステイの1か月あたりの利用日数（○は1つ） 1. 利用していない2. 月1～7日程度3. 月8～14日程度 4. 月15～21日程度 5. 月22日以上	原案のとおり		
	○		○		18		⑫	居宅療養管理指導の1か月あたりの利用回数（○は1つ） 1. 利用していない2. 月1回程度 3. 月2回程度 4. 月3回程度 5. 月4回程度	原案のとおり		
		○			19	問 7		令和7年10月中に介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも） 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族などが介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を支払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用している 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない 9. その他（ ）	原案のとおり		

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづく り計画
	国 必 須	国 オ フ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
3. 介護保険制度 の満足度について				○	20	問 8		介護保険制度全般に満足していますか。（○は1つ） 1. 満足している ⇒ 問9へ 2. どちらかと言えば満足している ⇒ 問9へ 3. どちらかと言えば満足していない ⇒ 問10（○ページ）へ 4. 満足していない ⇒ 問10（○ページ）へ	R4のとおり	次期計画の指標とするため。	
				○	21	問 9		問8で「1. 満足している」または「2. どちらかと言えば満足している」を選んだ理由は何ですか。（○はいくつでも） 1. 介護サービスにかかる費用が1～3割の自己負担で済む 2. 介護保険に関わる情報が充実している 3. 制度がわかりやすい 4. ケアマネジャーの対応が良い 5. 介護サービス事業所の対応が良い 6. 介護サービス事業所数が充足している 7. 介護サービスの種別が充実している 8. 使いたい介護サービスをすぐに利用できる 9. 介護サービスを利用するまでの流れがスムーズである 10. 相談や苦情の窓口が充実している 11. その他（ ）	R4のとおり	No. 20の進捗管理に必要であるため	
				○	22	問10		問8で「3. どちらかと言えば満足していない」または「4. 満足していない」を選んだ理由は何ですか。（○はいくつでも） 1. 介護保険料が高い 2. 介護サービス費用が高い 3. 制度がわかりにくい 4. ケアマネジャーの対応が良くない 5. 介護サービス事業所の対応が良くない 6. 介護サービス事業所が少ない（近隣にないなど） 7. 受けたい介護サービスが受けられない 8. 使いたい介護サービスがない 9. 介護サービスを使うまでに日数がかかる 10. 相談や苦情の窓口が充実していない 11. その他（ ）	R4のとおり	No. 20の進捗管理に必要であるため	
4. 介護サービス 以外の利用状況に ついて		○			23	問11		以下のサービスのうち、現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。（○はいくつでも） 1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他（ ） 11. 利用していない	原案のとおり		
		○			24	問12		今後の在宅生活の継続に必要と感じる「介護保険サービス以外」の支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じるものも含む）は何ですか。（○はいくつでも） 1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他（ ） 11. 特になし	原案のとおり		

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづくり計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
5. 心配ごとや悩みごとについて				○	25	問13		心配ごとや悩みごとがありますか。（○はいくつでも） 1. 自分の健康のこと 2. 家族の健康のこと 3. 病気などのとき、面倒をみってくれる人がいないこと 4. 孤独（ひとり暮らしなど）になること 5. 配偶者やパートナーに先立たれた後の生活のこと 6. 生活費など経済的なこと 7. 終活（※）のこと 8. 家の老朽化など住んでいる家に関すること 9. 趣味や生きがいがないこと 10. 家族や友人との人間関係のこと 11. 近所の方との人間関係のこと 12. 地震や風水害など災害時の対応のこと 13. その他（ ） 14. 心配ごとや悩みごとはない ⇒ 問15へ ※終活：葬儀・遺言・財産整理・エンディングノート・医療の希望などの事前準備	R4のとおり	要介護者支援策を検討していく上での参考とするため。 委員の意見を受け、選択肢7を追加	
				○	26	問14		心配ごとや悩みごとを誰に話したり相談したりしていますか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 子ども（子どもの配偶者やパートナーを含む） 3. その他の家族・親族 4. 友人や知人 5. 近所の人 6. 家族会（介護家族の会などの民間団体） 7. ケアマネジャー（介護支援専門員） 8. ホームヘルパーなど介護サービス事業所の職員 9. 行政の相談窓口（介護・福祉担当職員、保健師など） 10. 地域包括支援センターの職員 11. 民生委員 12. 医師 13. 薬局や介護用品店 14. インターネット上のコミュニティ・サイト（SNSなど） 15. その他（ ） 16. 相談したいが、相談する相手がいない 17. だれにも相談しない	R4のとおり	要介護者支援策を検討していく上での参考とするため。	
6. 在宅生活の継続について				○	27	問15		現在利用している在宅医療サービスはありますか。（○はいくつでも） 1. 訪問診療（医師による定期的な訪問、診療） 2. 往診（医師による緊急時の訪問、診療） 3. 歯科医師、歯科衛生士の訪問による治療、口腔ケアなどの指導 4. 薬剤師の訪問による薬の飲み方や管理などの指導 5. 管理栄養士の訪問による食事などの指導 6. 看護師の訪問による床ずれの手当てや点滴の管理などの処置 7. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の訪問による機能回復訓練などのリハビリテーション 8. その他（ ） 9. 特にない ⇒ 問17（○ページ）へ	R4のとおり	今後在宅医療に係る施策を検討する上で参考とするため。	
				○	28	問16		問14で「1. 訪問診療（医師による定期的な訪問、診療）」～「8. その他」と回答した方にお伺いします。 病院や施設ではなく、在宅医療による自宅での療養生活を選んだ理由は何ですか。（○はいくつでも） 1. 病院や施設ではなく、自宅での療養生活をしたいため 2. 家族が望んだため 3. 親戚や友人などから勧められたため 4. 医療や介護の専門職から勧められたため 5. 地域のかかりつけ医と病院の主治医との連携ができていたため 6. 費用が安いため 7. 希望する病院や施設に入院・入所できなかったため 8. 通院できないため 9. 同居するペット（犬・猫等）の世話・見守りを続けたいため 10. その他（ ） 11. わからない	R4から修正	今後在宅医療に係る施策を検討する上で参考とするため。 委員の意見を受け、選択肢9を追加した。	
7. 今後の介護について	○		○		29	問17		現時点の施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。（○は1つ） 1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている	原案のとおり		
				○	30	問18		今後、どのような介護を受けたいと思いますか。（○は1つ） 1. なるべく家族のみで、自宅で介護して欲しい ⇒ 問20（○ページ）へ 2. 介護サービスを使いながら、自宅で介護して欲しい ⇒ 問20（○ページ）へ 3. 介護施設などに入所・入居したい ⇒ 問19へ 4. 要介護度が重度化したら介護施設等への入所・入居を検討したい ⇒ 問19へ 5. その他（ ） ⇒ 問20（○ページ）へ 6. わからない ⇒ 問20（○ページ）へ	R4のとおり	今後の施設整備等の参考とするため	

					○	31	問19	問18で「3．介護施設などに入所・入居したい」または「4．要介護度が重度化したら介護施設等への入所・入居を検討したい」と回答した方にお伺いします。 どのような施設に入所・入居したいと思いますか。（○はいくつでも） 1．特別養護老人ホーム 2．介護老人保健施設 3．介護医療院 4．グループホーム 5．介護付き有料老人ホーム 6．その他（
--	--	--	--	--	---	----	-----	---

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづく り計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
								もしあなたが認知症で、「症状B（※）」のような病状になった場合、どこで最期を迎えることを希望しますか（○は1つ）。 ※「症状B」 【病状】認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔がわからず、食事や着替え、トイレなどの身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んでいる。 【医療上の判断】疾病等で回復の見込みはなく、およそ1年以内に、徐々にあるいは急に死に至る。 1. 自宅 ⇒ 問24へ 2. 病院 ⇒ 問25へ 3. 診療所 ⇒ 問25へ 4. 介護医療院 ⇒ 問25へ 5. 介護老人保健施設 ⇒ 問25へ 6. グループホーム ⇒ 問25へ 7. サービス付き高齢者向け住宅 ⇒ 問25へ 8. 老人ホーム（養護・特養・軽費・有料）⇒ 問25へ 9. その他（ ）⇒ 問25へ 10. わからない ⇒ 問26へ	削除	ニーズ調査の項目（問74）と内容が重複するため削除。	
								問23で「1. 自宅」と回答した方にお伺いします。 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものを選んでください。（○は1つ） 1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから 2. 訪問看護体制が整っているから 3. 訪問介護体制が整っているから 4. 住み慣れた場所で最期を迎えたいから 5. 最期まで自分らしく、好きなように過ごしたいから 6. 家族などとの時間を多くしたいから 7. 家族などに看取られて最期を迎えたいから 8. 他の家族などが自宅で最期を迎えていたから 9. 症状が急に悪くなった時に、すぐに医師や看護師が訪問してくれるから 10. 症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できる体制が整っているから 11. 経済的に負担が大きいと思うから 12. その他（ ）	削除	ニーズ調査の項目（問74）と内容が重複するため削除。	
								問23で「2. 病院」～「9. その他」と回答した方にお伺いします。 なぜ自宅以外を選択されたのかお考えに近いものを選んでください。（○は1つ） 1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから 2. 訪問看護体制が整っていないから 3. 訪問介護体制が整っていないから 4. 24時間相談にのってくれるところがないから 5. 介護してくれる家族などがそばにいないから 6. 介護してくれる家族などの負担が大きいから 7. 症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安だから 8. 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから 9. 症状が急に悪くなった時にすぐに入院できるか不安だから 10. 居住環境が整っていないから 11. 経済的に負担が大きいと思うから 12. その他（ ）	削除	ニーズ調査の項目（問74）と内容が重複するため削除。	

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづくり計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
8. 終活について				○	32	問20		終活のために何か取り組んでいることはありますか。（○はいくつでも） 1. 終活について家族と話し合うこと 2. エンディングノートやメモを作成すること 3. 遺言書を作成すること 4. 医療や介護の希望をまとめること 5. 財産の管理や整理をすること 6. 自分の葬儀の希望（費用や式場）をまとめておくこと 7. 考えてはいるが特に取り組んでいない 8. 特に考えていない 9. その他（ ）	追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。 ※事前調査から一部修正しています。	
				○	33	問21		問20で「7 考えてはいるが特に取り組んでいない」「8 特に考えていない」と回答した方に伺います。 その理由をお聞かせください。（○はいくつでも） 1. まだ準備を始める年齢や健康状態ではないから 2. どのように始めたら良いかわからないから 3. 終活について親族や知人と話しにくいから 4. 費用負担が心配であるから 5. 親族や知人に任せているから 6. 時間がなく後回しにしている 7. 公的な相談窓口や情報がわかりにくいから 8. ネガティブなイメージがあり考えたくないから 9. その他（ ）	追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。 ※事前調査から一部修正しています。	
				○	34	問22		終活を始める・進める上で、あなたが最も欲しい支援・情報はどれですか？（○は1つ） 1. 市役所などの無料相談窓口（対面） 2. 医療・介護現場での説明（かかりつけ医など） 3. エンディングノート等の配布／ダウンロード資料 4. ワークショップ・講座（説明会・書き方教室） 5. 手続き代行や専門家の紹介（遺言作成・相続相談の紹介） 6. 葬儀・費用に関する情報（費用例や簡易葬の案内） 7. インターネットでのセルフチェック／オンライン相談 8. その他（ ）	追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。	
		○	○		35	問23		ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族などからの介護を含む）。（○は1つ） 1. ない ⇒調査は終了です。 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある	原案のとおり		

↓以下の調査項目は、主な介護者向け

[illegible]

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづくり計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
9. 介護をする上での不安や困りごとについて	○		○		43	問 6		現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などは何ですか。（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで） 【身体介護】 1. 日中の排せつ 2. 夜間の排せつ 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎など 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど） 【生活援助】 12. 食事の準備（調理など） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物など） 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き 【その他】 15. その他（ 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない	原案のとおり		
				○	44	問 7		介護する上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも） 1. 本人が介護サービスを使いたがらない 2. 介護の方法がわからない 3. 家族や近隣の方などの理解が足りない 4. 心身の負担が大きい 5. 経済的な負担が大きい 6. 別居のため、介護に出向くのが大変 7. 自分の時間が持てない、自分の仕事ができない 8. 仕事との両立が大変 9. 子育てとの両立が大変 10. 緊急時の対応が不安 11. 自宅で受けられる介護サービスが不十分 12. 介護のための部屋がない、入浴ににくいなど住宅の構造に問題がある 13. その他（ 14. 特にな ⇒ 問8（○ページ）へ	R4のとおり	介護者支援策を検討していくうえで必要な情報であるため。	
				○	45	問 8		介護に困ったときだれに相談していますか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 子ども（子どもの配偶者やパートナーを含む） 3. その他の家族・親族 4. 友人や知人 5. 職場（上司・同僚・人事 等） 6. 近所の人 7. 家族会（介護家族の会などの民間団体） 8. ケアマネジャー（介護支援専門員） 9. ホームヘルパーなど介護サービス事業所の職員 10. 行政の相談窓口（介護・福祉担当職員、保健師など） 11. 地域包括支援センターの職員 12. 民生委員 13. 医師 14. 薬局や介護用品店 15. インターネット上のコミュニティ・サイト（SNSなど） 16. その他（ 17. 相談したいが、相談する相手がいない 18. だれにも相談しない	R4から修正	介護者支援策を検討していくうえで必要な情報であるため。 委員の意見を受け、選択肢5を追加した。	

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづく り計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
10. 今後の介護について				○	46	問9		今後、どのような介護をしたいと思いますか。（○は1つ） 1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい 2. 介護サービスを使いながら、自宅で介護したい 3. 介護施設などに入所・入居させたい 4. 要介護度が重度化したら介護施設などへの入所・入居を検討したい 5. その他（ 6. わからない	R4のとおり	今後の施設整備等の参考とするため	
				○	47	問10		在宅での介護を続けるために、必要だと思うことは何ですか。（○はいくつでも） 1. 要介護度の重度化を防止すること 2. 家族や親族の協力があること 3. 近所の人やボランティアに手伝いを頼めること 4. 介護者同士が交流できる場で心身のリフレッシュができること 5. 介護保険制度やサービス事業所などについての情報が得やすいこと 6. 介護全般についての身近な相談窓口があること 7. 仕事と介護の両立を支える職場の理解・制度があること（介護休業・時短・在宅勤務など） 8. 介護保険外の生活支援サービスが利用しやすいこと（家事代行・買い物支援・送迎など） 9. 介護用品（紙おむつなど）の支給があること 10. 緊急の場合などに安心して介護保険サービスが利用できること 11. 緊急の場合などにかかりつけ医などから医療的なアドバイスを得られること 12. 認知症についての身近な相談窓口があること 13. 認知症高齢者の徘徊などを地域で見守る体制の強化 14. 認知症の方を介護している方向けの講習会や講演会 15. その他（ 16. 特になし	R4から修正	今後の家族介護者支援策の検討材料とするため 委員の意見を受け、選択肢7，8を追加	
11. 介護者の勤務形態について	○		○		48	問11		ご家族やご親族の中で、ご本人様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）（○はいくつでも）※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない	原案のとおり		
	○		○		49	問12		主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください。（○は1つ） 1. 正規職員として働いている ⇒ 問12へ 2. 非正規職員として働いている（フルタイム） ⇒ 問12へ 3. 非正規職員として働いている（パートタイム） ⇒ 問12へ 4. 働いていない ⇒ 問15へ 5. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒ 問15へ	原案から修正（R4のとおり）		
	○		○		50	問13		主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。（○はいくつでも） 1. 特に行っていない 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない	原案のとおり		
		○			51	問14		主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで） 1. 自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇などの制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他（ 10. 特にない 11. 主な介護者に確認しないと、わからない	原案のとおり		
	○		○		52	問15		主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ） 1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあがるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない	原案のとおり		

	R 7				No	問	捕問	設問	事務局の検討結果		総合計画 まちづく り計画
	国 必 須	国 オ プ シ ョ ン	県	市					原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容	
12. 認知症について				○	53	問16		現在、調査対象者に認知症と思われる症状がありますか。（○は1つ） 1. ある ⇒ 問16へ 2. ない ⇒ 調査は終了です。	R4のとおり	認知症に係る施策を検討するうえでの参考とするため。	
				○	54	問17		主な介護者の方は、調査対象者の認知症と思われる症状に気づいたとき、どうしましたか。（○はいくつでも） 1. かかりつけ医に相談 2. 家族内で話し合う 3. 本人に受診を勧める 4. ケアマネジャーに相談 5. 他の認知症当事者やその家族に相談 6. 市の窓口相談 7. 地域包括支援センターに相談 8. 「かけこまち七間町（※）」に相談 9. しばらく様子をみた 10. 何もしない 11. その他（ ）	R4のとおり	認知症に係る施策を検討するうえでの参考とするため。	
				○	55	問18		認知症について、相談したい内容は何ですか。（○はいくつでも） 1. 買い物や食事、旅行など、日常生活のこと 2. 症状の進行や治療、薬などの医療のこと 3. 仕事の継続や就労のこと 4. 介護の方法、接し方などについて 5. 利用できる在宅サービスや施設サービスなどについて 6. 見守りについて（周囲の人に伝えた方がいいのかなど） 7. その他（ ）	R4のとおり	認知症に係る施策を検討するうえでの参考とするため。	
								介護保険制度に関して、意見・要望等がありましたら、自由にお書きください。 （調査対象者様記入欄） （主な介護者様記入欄）	削除	本調査は、主として要介護者の客観的な状態把握のために実施する。このことから、設問は具体化された質問を中心に構成し、クロス集計などの分析により課題を明確化できる形式とするため。 なお、次年度の計画策定時にパブリックコメントを実施し、次期計画案に対して市民へ意見を伺う予定。	

○の数 23 8 22 23 計 41

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

資料2-3

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

問	御意見、御要望等	対応案
2-2	選択肢の追加 「家族が必要ないと判断した」	前回調査では、選択肢「その他」の具体内容記載で左記の内容を回答をした方はいませんでした。そのため、今回調査においても「その他」の選択肢で対応します。
2-3	選択肢の修正 息子、娘を1つの項目に統合	国のオプション項目であり、国に集計結果を報告する必要があります。集計結果を他自治体と比較するため、選択肢の統合はできません。
5	選択肢の追加 「家周辺(庭等)の雑草」	選択肢を追加します。 「家の維持管理が大変(庭の手入れなど)」
6	選択肢の追加 「銀行、郵便局等の金融機関が遠い」	選択肢を追加します。 「暮らしに必要な施設が遠い(病院、福祉施設、銀行など)」
7	設問の削除 「いいえ」と答える人はごく少数では。問8-1に「必要を感じない」という選択肢があるので、「いいえ」と回答する人をこちらの問で把握できるのではないのでしょうか。	設問の削除はしないことといたします。 エアコンが熱中症対策に有効であることは、様々なところから周知され、一般的な知識として広まりつつあります。しかしながら、屋内での熱中症死亡者のうち、約9割はエアコン未使用・未設置であるというデータ(環境省)もあることから、一般的な知識と実際の認識度合いに乖離があるのではと考えます。この設問をとおして、その乖離の実態を把握できるのではと考えます。 また、エアコンが熱中症対策に有効であると知っていながらも、「この程度の暑さなら耐えられる」とエアコンの必要を感じず、利用しないケースも考えられます。
8-1	①選択肢1「エアコンが苦手」 エアコンの操作が苦手という意味にもとれてしまうので、「エアコンによる温度調節が体に合わないため」や「エアコンの風や温度が体に合わないため」などの言い回しがあってもよいかと思いました。 ②選択肢の追加 「家族が使用しない」	①選択肢の内容を修正します。 「エアコンの風や温度が体に合わないため」 ②選択肢を追加します。 「同居人が使用しない」
15	選択肢の追加 「変わらない」	国及び県の必須項目であり、それぞれに集計結果を報告する必要があります。集計結果を他自治体と比較するため、選択肢の増加はできません。

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

問	御意見、御要望等	対応案
15-1	①選択肢の追加 「体力や疲れやすさ」 外出が減っている理由に、「体力」や「疲れやすさ」といった疾患、病気由来以外の身体的理由があっても良いかと思えます。 ②選択肢の追加 「異常な暑さのため(熱中症が不安)」 季節が限定され選択肢としてふさわしくないかもしれませんが、今年の夏は「あまりに暑く出かけられなかった」という声をよく聞いたので。 ③「コロナウィルス感染予防のため」の選択肢を削除するようですが、5類に移行したとはいえ、まだ感染する人もいし、インフルエンザ感染もあるので、「感染症予防のため」として残してもよいと思えます。	①選択肢の追加はしないことといたします。 前回調査では、選択肢「その他」の具体内容記載で「体力の衰え」と回答した方は13人程度でありました。当該理由の回答者が少ないため、今回調査においても「その他」の選択肢で対応します。 ②選択肢を追加します。 「異常な暑さのため(熱中症が不安)」 ③選択肢を再度追加します。 「感染症予防のため」
16	選択肢の追加 「スポーツ」	選択肢の追加はしないことといたします。 回答者の負担軽減及び選択肢1と4に「スポーツ」の解釈が含まれていると考えたため。
50	設問文の修正 「何かあったとき」とはどのようなときであるのか、「病気、困りごと、不安、心配などの何かあった時」というように明確にしたほうが、回答しやすいと思えます。	設問文を修正します。 「心配事や病気など何かあったとき」
52	設問文注釈の修正 「※高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう」を、「高齢者の方々が住み慣れた地域で1人でも安心して暮らしていけるよう」と高齢者に寄り添う文言表現にした方が調査としても、効果的な周知方法の1つとなると考えます。	修正はしないことといたします。 「1人でも」を追加した場合、身元保証を行うという誤解を招くおそれあるため。
52-1	選択肢の追加 「医療機関からの紹介」 「家族・友人・知人からの紹介」	選択肢を追加します。 「医療機関からの紹介」 「家族・友人・知人からの紹介」
53	設問文の修正 「高齢者虐待」の虐待内容の例を挙げた方が、分かりやすく、身近に起こっている場合にも相談、通報等に繋げ易くなると思えます。	修正はしないことといたします 例を挙げることで、「高齢者虐待」の解釈の範囲が狭まってしまうおそれがあるため。回答者本人が「高齢者虐待」だと考える行為を「高齢者虐待」と捉えることとします。

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

問	御意見、御要望等	対応案
55	「かかりつけ医」の定義 健康に関することをなんでも相談できるような、身近で頼りになる医師(かかりつけ医)とありますが、回答者は「かかりつけ医」の定義に迷うのではないのでしょうか。定期的に健康状態を把握してもらっているが、なんでも相談できていない、そんなには身近に感じていない医師の場合は、どう判断したらよいのでしょうか。 市としては、どこまでを「かかりつけ医」としているのでしょうか。	「なんでも」や「身近な」の感覚は人それぞれで異なるため、定義付けは難しいと考えます。あくまで、「この医師は私のかかりつけ医だ」と思えるような医師がいるかどうかを問う設問だと認識していただきたいです。 ↓日本医師会の定義 健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師
64	設問文の修正 「健康診断を受診している」のは、いつごろまでを含むのかが分かりにくいと思いました。 例えば昨年健診を受けたけれど今年は受けていない場合もあるかと思しますので、「過去1年のうちに受けたか」「毎年受けているか」といったような質問の方が答えやすいかと思いました。	設問文を修正します。 「過去1年間に健康診断を受診しましたか」
64-1	選択肢の追加 「これといった症状がないから」 健康だと思っている方が一定数いると考えます(健康なうちは行かない)。	選択肢を追加します。 「これといった症状がなく、受診の必要性を感じない」
71、75	家族についての質問ですが、1人暮らしの人はどうのように回答したらよいでしょうか。	「家族」には、同居していない家族を含むため、そのような方々を「家族」として捉えて回答していただきたいと考えています。
72	①在宅介護を続けるために必要なことについて、最近の動向として、仕事と介護の両立が必要な介護者が増えていると聞きます。会社や勤務先の理解・協力・支援(介護離職防止施策)が必要だったり、介護保険サービスでは対応できない家事代行や外出支援などのサービスも増えており、これらのことも、在宅介護を続けるために今後必要になってくると感じています。 ②選択肢の修正 「11. 認知症高齢者の徘徊等を地域で見守り及びGPSの配布・貸出等による体制の強化」	在宅介護(No.47)と同じ項目 ①選択肢を修正します。 「仕事と介護の両立を支える職場の理解・制度があること(介護休業・時短・在宅勤務など)」 「介護保険外の生活支援サービスが利用しやすいこと(家事代行・買い物支援・送迎など)」 ②選択肢の追加はしないことといたします。 選択肢が長くなることを避けること、及び「GPSの配布・貸出」という具体的な手段は元の選択肢の内容に含むため。
73	選択肢の追加 高齢期を快適に暮らすために重要なこととして、交通施策は欠かせないと思います。	選択肢を追加します。 「交通手段の充実」

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

問	御意見、御要望等	対応案
73-1	選択肢の追加 「日々の新聞配布と配達員の協力」 (1. 定期的訪問に含まれる?)	選択肢の追加はしないことといたします。 ご意見の括弧書きのとおり、選択肢1に含まれるため。
74	高齢者向けのケア付き住宅は住宅型有料も含まれるのか。	含みます。
80	終活についての市民意識を把握するための設問ですが、※印の説明がたくさんあり、説明しなければ回答を得られない状態なのではないでしょうか。 まだ市民に認知されていない状態なら、意思表示の方法を知っているか?というような認知度を問う質問では市民の意識を把握できませんか。 この質問の前に、自身の判断能力不十分の際の意思表示の実施の有無について・伝えたい・決めていない・考えていない など聞いてみたら、と思いました。	問80の設問自体を削除することといたしました。 説明書きが必要な専門用語が多く記載されていることで、回答者の負担になることのほか、問78で意思表示を含む終活についての意識を把握できると考えたため。
	①全体に文字数が多く、回答者に負担感があるのではと感じました。 ②その中で前回調査の回答率や有効回答率が高いことに驚きました。実施にあたっての工夫や努力があったことと思います。今回の調査でも有効な回答を得るための対策はありますか。	①設問数(文字数)が多いことは認識しておりますが、国や県の必須項目が多い中、市としても設問数を絞ったうえでの現在の設問数となっております。 ②実際に送付する調査票は、A4サイズの小冊子のような形式で文字のサイズも大きくします。

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

問	御意見、御要望等	対応案
	設問の追加 「高齢者はどのような企画に興味をもっているのか」 退職後の男性高齢者、閉じこもりがちの第二の人生を送る人に手立てがないものか？ 昔でいう企業戦士が定年後はゆっくりと過ごしたい、衆目になります。数年はのんびりしたいが、その後社会へ出ようと思います。しかし、面倒になったり、何をいまさら、特にやりたいこともない、世間に出かけて人と接するなんて、一人でいても大丈夫、等と思う高齢者が多いように感じます。 積極的に外出し、人と接することで事故健康管理をし、フレイル予防、または認知症予防にもつながります。まさに「しずおかちゃちゃちゃ」は高齢者の居場所づくりの課題として事業化されたと思っています。 様々なイベントへ自由気ままに参加できるような、または楽しめる行事ならもっと参加者増加につながります。ほんの小さなグループ、有志だけで集まる麻雀、囲碁・将棋の集まり等遊びのイベント、募集内容で楽しめる・楽しそうと想像できるものの計画。自治会のイベントでも楽しそうなら参加者の増加が期待できます。健康を維持するために運動になるイベントの企画も。 楽しく参加できそうなものを企画する前に、そんな高齢者のためにどんな企画に興味を持つ等のアンケートを取ることも必要と思います。 元気な高齢者が増えれば、福祉関係の予算も削減できるかもしれません。 静岡市が男性高齢者の画期的な居場所づくりの実践、モデルケースになることを期待いたします。	設問の追加はしないことといたします。 現在、常葉大学と協力し、65歳以上の高齢者や介護保予防事業を委託している企業、関係者等にどのような企画に興味を持つのか聞き取りを行っており、聞き取り内容は、今後の施策に反映していきます。 そのため、本調査では設問には追加しないことといたします。

【在宅介護実態調査】

(資料2-3)

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

調査票No	意見概要	対応
7~18	小多機や看多機、定期巡回などの理解ができているか。居宅療養管理指導を分かっている人がいるのか。	実際送付する調査票には説明を入れるようにします。
25	「終活(遺産相続など)」を追加してはどうか	選択肢に追加します。 「終活(※)のこと」 ※終活・葬儀・遺言・財産整理・エンディングノート・医療の希望などの事前準備
28	「犬、猫等のペットを飼育しているため」を追加したらどうか	表現方法を変更し、選択肢に追加します。 「同居するペット(犬・猫等)の 世話・見守りを続けたいため」
31	それぞれの施設の区別がつくのか。	実際送付する調査票には説明を入れるようにします。
32	「あなた」とは調査対象者？記入者が介護者であれば介護者なのか。	「あなた」は、調査対象者を示します。 実際送付する調査票には、調査票の冒頭に注釈を加え、回答者が分かりやすいものとします。 なお、回答者の誤認を防ぐため、「あなた」という表記は削除しました。

\begin{array}{l} \text{\\ 具个才} \end{array} \quad \text{\\ }

※その他軽微なものについては反映済です。
※事前発送時点から事務局で検討した内容を反映しています。

第9期介護保険事業計画 進捗状況報告

(R6～8年度)

1. 高齢者数(第1号被保険者数)

単位:人・各年9月末時点

	第8期						第9期					
年度	R4			R5			R6			R7		
高齢者数	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比
	210,986	210,891	100.0	211,131	210,267	99.6	209,618	210,050	100.2	208,615	209,443	100.4
65～74歳	96,044	95,869	99.8	91,365	91,114	99.7	87,025	86,977	99.9	83,781	83,783	100.0
75～84歳	76,864	76,847	100.0	80,710	80,264	99.4	83,829	83,789	100.0	85,269	85,201	99.9
85歳～	38,078	38,175	100.3	39,056	38,889	99.6	38,764	39,284	101.3	39,565	40,449	102.2

◆高齢者数は概ね計画どおり

・R4年度から団塊の世代が75歳に到達し始めたため、65～74歳は急減する一方で、75歳以上は急増した。

2. 要支援・要介護認定者数

単位：人・各年9月末時点・64歳以下除く

	第8期						第9期					
年度	R4			R5			R6			R7		
	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比
被保険者数	210,986	210,891	100.0	211,131	210,267	99.6	209,618	210,050	100.2	208,615	209,443	100.4
認定者数	41,016	40,963	99.9	42,027	41,563	98.9	41,995	42,698	101.7	42,366	43,538	102.8
要支援1	4,417	4,472	101.2	4,521	4,568	101.0	4,610	4,796	104.0	4,660	4,827	103.6
要支援2	5,589	5,622	100.6	5,719	5,604	98.0	5,652	5,693	100.7	5,702	5,772	101.2
要介護1	9,542	9,810	102.8	9,781	9,983	102.1	10,098	10,400	103.0	10,188	10,675	104.8
要介護2	7,663	7,511	98.0	7,851	7,776	99.0	7,854	8,044	102.4	7,930	8,292	104.6
要介護3	5,807	5,638	97.1	5,952	5,807	97.6	5,872	5,995	102.1	5,926	6,126	103.4
要介護4	4,860	4,979	102.4	4,985	4,937	99.0	4,991	5,053	101.2	5,024	5,035	100.2
要介護5	3,138	2,931	93.4	3,218	2,888	89.7	2,918	2,717	93.1	2,936	2,811	95.7
認定率	19.4	19.4	100.0	19.9	19.8	99.5	20.0	20.3	101.5	20.3	20.8	102.5

◆ R 7 認定者数及び認定率は概ね計画どおり

・被保険者数は減少しているが、医療・介護ニーズが高い後期高齢者数が伸びているため、認定者数及び認定率は伸び続けている。

3. 保険給付費執行状況

市が介護事業所に支払うもの(利用者の自己負担以外・7～9割部分)

単位:億円

	第8期						第9期					
年度	R4			R5			R6			R7	R8	計
保険給付費	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比	計画	実績	対計画比	計画	計画	計画
	647	629	97.1	666	648	97.3	659	671	101.7	667	671	1,997
うち在宅サービス	348	337	96.8	364	353	97.0	354	365	102.9	358	362	1,074
うち居住系サービス	92	92	99.2	93	93	99.6	96	95	99.3	97	97	289
うち施設サービス	207	200	96.8	209	202	96.4	209	211	100.7	212	212	634

注:億円単位に丸めているため合計、対計画比が合わない場合があります。

◆保険給付費は概ね計画どおり。

- ・在宅サービスが計画をやや上回っている。
- ・詳細別紙のとおり

サービス種別	計画値(円)	給付実績(円)	対計画比	理由
在宅系サービス	35,420,064,000	36,459,790,125	102.9	
訪問系サービス	7,847,566,000	8,768,979,281	111.7	訪問介護 計画値 1,399,692回/年 実績 1,684,302回/年 一人当たりの回数増加のため。特に重度認定者(要介護3以上)の 利用回数が想定を大きく上回った。
通所系サービス	14,677,584,000	14,434,002,760	98.3	—
短期入所系サービス	3,084,622,000	2,952,862,409	95.7	—
その他サービス(小多機、看多機、居宅等)	9,810,292,000	10,303,945,675	105.0	—
施設サービス	20,957,066,000	21,104,706,553	100.7	
地域密着型介護老人福祉施設入居者 生活介護	219,635,000	245,169,871	111.6	特養の整備数は地域密着型を含めて整備を行っているため、 特養全体の実績と比較すると、対計画比99.1%と概ね計画どおり。
介護老人福祉施設	11,262,408,000	11,135,103,018	98.9	
介護老人保健施設	7,325,885,000	7,830,065,610	106.9	—
介護療養型医療施設	0	21,074,102	—	—
介護医療院	2,149,138,000	1,873,293,952	87.2	—

※前頁は億円単位に丸めているので対計画比が合いません。

※計画値(円)＝想定利用者数(人)×想定1人あたり給付費(円)のため、いずれかがずれると実績値(円)もずれます。

※介護療養型医療施設は、令和5年度末までで介護医療院に転換済みです。

4. 他地域との比較

項目	静岡市	指定都市平均	全国平均
高齢化率(R7年9月) 人口に占める高齢者の割合	31.5%	26.9%	29.6%
認定率(R6年度) 第1号被保険者(≡高齢者)のうち要支援・介護認定者の占める割合	20.4%	21.8%	19.7%
(年齢調整後)認定率(R6年度) R6年度の人口構造で算出	19.9%	21.6%	19.7%
受給率(R7年2月末) 第1号被保険者(≡高齢者)のうち介護サービス利用者の割合	17.0%	16.1%	15.0%
第1号被保険者1人あたり給付月額(R7年2月)	25,222円	24,884円	23,191円
受給者(利用者)1人あたり給付月額(R7年2月)	148,694円	156,852円	154,835円
新規認定者平均年齢(R5年度)	81.9歳	81.2歳	81.7歳
介護保険料基準額(第9期)	6,350円	6,692円	6,225円

◆認定率は平均的だが受給率が高い(認定率と受給率の差が小さい)。

・介護サービスが充足されており適切にサービスに繋がられていると考えられることから、認定率と受給率の差が小さい。

◆第1号被保険者1人あたり給付月額は高いが受給者1人あたり給付月額は低い。

・受給率が高いことからサービス利用者が多くなり、第1号被保険者1人あたりの給付月額は高くなる。一方で、軽度の要介護認定者の割合が高いため、1人あたりの給付額は抑えられている。

サービス別利用状況

赤字:対計画値110%を上回る場合

青字:対計画値を90%を下回る場合

区分			単位	R4計画	R4実績	対計画比	R5計画	R5実績	対計画比	R6計画	R6実績	対計画比	R7計画	R8計画
介護給付	在宅	訪問介護	回数	1,305,778	1,402,356	107.4	1,339,591	1,499,495	111.9	1,399,692	1,684,302	120.3	1,410,708	1,423,344
		訪問入浴介護	回数	32,795	31,190	95.1	32,795	31,701	96.7	32,468	29,543	91.0	32,820	33,124
		訪問看護	回数	334,559	326,943	97.7	359,658	335,105	93.2	322,644	350,966	108.8	341,058	344,142
		訪問リハビリテーション	回数	72,191	73,934	102.4	74,548	75,846	101.7	71,873	75,190	104.6	72,470	73,061
		居宅療養管理指導	人数	65,676	65,203	99.3	68,148	73,093	107.3	69,780	78,074	111.9	70,416	70,992
		通所介護	回数	1,101,274	1,028,764	93.4	1,142,707	1,062,476	93.0	1,066,007	1,064,185	99.8	1,075,112	1,083,937
		通所リハビリテーション	回数	266,282	257,848	96.8	282,006	270,095	95.8	269,785	266,509	98.8	272,237	274,483
		短期入所生活介護	日数	323,779	300,390	92.8	347,444	300,878	86.6	314,644	296,618	94.3	317,368	320,015
		短期入所療養介護(老健)	日数	23,118	17,495	75.7	23,118	20,374	88.1	19,338	21,027	108.7	19,498	19,498
		福祉用具貸与	人数	159,384	158,453	99.4	166,944	164,849	98.7	165,288	171,270	103.6	166,716	168,120
		特定福祉用具販売(購入)	人数	2,172	2,297	105.8	2,244	2,240	99.8	2,244	2,532	112.8	2,292	2,196
		住宅改修	人数	1,992	1,930	96.9	2,064	1,912	92.6	1,356	1,958	144.4	1,368	1,380
		居宅介護支援	人数	222,936	223,180	100.1	228,444	228,064	99.8	229,500	233,948	101.9	231,492	233,436
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数	588	626	106.5	600	936	156.0	744	1,239	166.5	732	756
		夜間対応型訪問介護	人数	816	888	108.8	816	850	104.2	864	508	58.8	864	852
		地域密着型通所介護	回数	313,764	294,777	93.9	320,369	308,319	96.2	312,762	310,996	99.4	315,611	317,753
		認知症対応型通所介護	回数	84,419	81,263	96.3	84,419	81,296	96.3	83,004	79,148	95.4	83,396	84,196
		小規模多機能型居宅介護	人数	10,584	9,017	85.2	11,100	9,175	82.7	9,036	8,861	98.1	9,108	9,180
		看護小規模多機能型居宅介護	人数	3,372	3,705	109.9	4,080	4,292	105.2	4,272	5,080	118.9	4,296	4,356
	居住系	認知症対応型共同生活介護	人数	21,816	21,932	100.5	21,816	21,800	99.9	22,164	21,660	97.7	22,368	22,512
		地域密着型特定施設入居者生活介護	人数	2,172	2,130	98.1	2,172	2,124	97.8	2,340	2,121	90.6	2,364	2,376
		特定施設入居者生活介護	人数	14,664	14,075	96.0	14,964	14,426	96.4	14,292	15,089	105.6	14,412	14,460
	施設系	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人数	828	824	99.5	1,068	790	74.0	744	777	104.4	780	792
		介護老人福祉施設	人数	40,920	40,321	98.5	40,680	40,334	99.1	40,932	40,381	98.7	41,316	41,340
		介護老人保健施設	人数	27,840	26,509	95.2	28,536	26,543	93.0	25,536	26,918	105.4	25,764	25,896
		介護療養型医療施設	人数	1,440	779	54.1	0	752	#DIV/0!	0	64	#DIV/0!	0	0
		介護医療院	人数	3,096	3,710	119.8	4,536	3,520	77.6	5,952	5,216	87.6	6,000	6,000

区分			単位	R4計画	R4実績	対計画比	R5計画	R5実績	対計画比	R6計画	R6実績	対計画比	R7計画	R8計画
予防給付	在宅	介護予防訪問入浴介護	回数	112	94	83.9	112	137	122.3	240	163	67.9	240	240
		介護予防訪問看護	回数	42,268	34,963	82.7	43,864	35,462	80.8	31,980	34,881	109.1	34,616	34,835
		介護予防訪問リハビリテーション	回数	12,246	10,540	86.1	12,636	11,205	88.7	11,208	9,898	88.3	11,501	11,501
		介護予防居宅療養管理指導	人数	2,532	2,611	103.1	2,592	2,733	105.4	2,688	2,901	107.9	2,712	2,736
		介護予防通所リハビリテーション	人数	17,172	15,874	92.4	17,760	16,281	91.7	15,924	16,609	104.3	16,068	16,200
		介護予防短期入所生活介護	日数	4,087	2,546	62.3	4,397	1,922	43.7	2,014	2,217	110.1	2,014	2,092
		介護予防短期入所療養介護(老健)	日数	154	117	76.0	154	135	87.7	144	75	52.1	144	144
		介護予防福祉用具貸与	人数	49,920	50,306	100.8	52,224	51,034	97.7	51,444	52,797	102.6	51,888	52,320
		特定介護予防福祉用具購入	人数	804	691	85.9	816	691	84.7	576	732	127.1	648	648
		介護予防住宅改修	人数	1,080	928	85.9	1,104	928	84.1	792	1,056	133.3	792	804
		介護予防支援	人数	62,136	62,635	100.8	64,584	63,124	97.7	63,300	64,667	102.2	63,840	64,380
		介護予防認知症対応型通所介護	回数	1,061	947	89.3	1,061	853	80.4	791	792	100.1	791	791
		介護予防小規模多機能型居宅介護	人数	312	270	86.5	432	275	63.7	252	231	91.7	252	252
	居住系	介護予防特定施設入居者生活介護	人数	2,256	1,449	64.2	2,316	1,435	62.0	1,488	1,269	85.3	1,500	1,512
		介護予防認知症対応型共同生活介護	人数	144	93	64.6	144	70	48.6	72	60	83.3	72	72

サービス別給付状況

赤字:対計画値110%を上回る場合

青字:対計画値を90%・

単位:円

区分			R4計画	R4実績	対計画比	R5計画	R5実績	対計画比	R6計画	R6実績	対計画比	R7計画	R8計画
介護給付	在宅	訪問介護	4,220,801,000	4,467,216,698	105.8	4,328,236,000	4,771,065,604	110.2	4,534,073,000	5,226,003,603	115.3	4,575,614,000	4,616,516,000
		訪問入浴介護	405,405,000	392,567,417	96.8	405,405,000	403,304,827	99.5	419,122,000	380,527,071	90.8	424,193,000	428,118,000
		訪問看護	1,656,471,000	1,607,191,350	97.0	1,784,216,000	1,633,934,491	91.6	1,581,826,000	1,706,022,108	107.9	1,674,466,000	1,689,727,000
		訪問リハビリテーション	211,662,000	202,834,524	95.8	218,576,000	208,498,164	95.4	198,317,000	206,654,155	104.2	200,209,000	201,845,000
		居宅療養管理指導	675,978,000	698,220,105	103.3	701,514,000	783,271,883	111.7	795,158,000	859,039,819	108.0	803,431,000	809,998,000
		通所介護	8,639,904,000	7,973,275,538	92.3	8,961,836,000	8,330,867,194	93.0	8,438,235,000	8,362,844,412	99.1	8,521,353,000	8,590,546,000
		通所リハビリテーション	2,058,044,000	1,973,183,990	95.9	2,197,025,000	2,048,534,641	93.2	2,082,033,000	2,013,960,611	96.7	2,104,240,000	2,121,755,000
		短期入所生活介護	2,841,043,000	2,659,492,355	93.6	3,046,764,000	2,673,507,768	87.7	2,843,666,000	2,690,891,541	94.6	2,872,053,000	2,896,022,000
		短期入所療養介護(老健他)	267,922,000	199,851,344	74.6	267,922,000	233,058,666	87.0	224,644,000	246,132,051	109.6	226,660,000	226,660,000
		福祉用具貸与	2,057,186,000	2,101,645,328	102.2	2,151,369,000	2,206,892,818	102.6	2,195,182,000	2,290,506,424	104.3	2,214,095,000	2,232,710,000
		特定福祉用具購入	67,566,000	73,926,156	109.4	69,807,000	78,165,643	112.0	80,924,000	85,547,420	105.7	82,942,000	79,893,000
		住宅改修	154,208,000	155,477,437	100.8	159,802,000	157,346,201	98.5	113,941,000	161,873,528	142.1	114,845,000	115,851,000
		居宅介護支援	3,376,329,000	3,443,692,825	102.0	3,459,018,000	3,568,413,115	103.2	3,624,093,000	3,731,363,813	103.0	3,660,214,000	3,690,997,000
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	69,928,000	93,908,381	134.3	70,765,000	133,222,751	188.3	104,545,000	177,730,761	170.0	101,361,000	103,676,000
		夜間対応型訪問介護	21,517,000	21,344,087	99.2	21,517,000	21,083,622	98.0	21,723,000	11,731,476	54.0	21,671,000	21,337,000
		地域密着型通所介護	2,582,632,000	2,441,770,854	94.5	2,637,263,000	2,572,666,599	97.6	2,658,706,000	2,592,657,490	97.5	2,687,176,000	2,703,782,000
		認知症対応型通所介護	930,185,000	891,250,013	95.8	930,185,000	893,182,801	96.0	926,280,000	886,904,636	95.7	931,197,000	939,794,000
		小規模多機能型居宅介護	2,197,273,000	1,927,766,907	87.7	2,309,326,000	1,999,748,678	86.6	2,001,401,000	1,938,664,731	96.9	2,018,202,000	2,033,947,000
		看護小規模多機能型居宅介護	834,144,000	895,025,416	107.3	988,560,000	1,067,833,783	108.0	1,038,440,000	1,295,500,090	124.8	1,044,924,000	1,060,555,000
	居住系	認知症対応型共同生活介護	5,742,316,000	5,806,891,537	101.1	5,742,316,000	5,870,616,450	102.2	6,075,850,000	5,902,378,963	97.1	6,139,467,000	6,178,153,000
		地域密着型特定施設入居者生活介護	418,801,000	422,078,543	100.8	418,801,000	418,977,980	100.0	439,657,000	431,481,124	98.1	446,119,000	447,808,000
		特定施設入居者生活介護	2,859,051,000	2,782,364,218	97.3	2,947,178,000	2,856,602,432	96.9	2,907,610,000	3,042,623,328	104.6	2,935,594,000	2,942,229,000
	施設系	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	245,580,000	233,190,396	95.0	323,411,000	229,129,522	70.8	219,635,000	245,169,871	111.6	230,863,000	234,726,000
		介護老人福祉施設	10,803,965,000	10,672,994,343	98.8	10,735,230,000	10,851,276,188	101.1	11,262,408,000	11,135,103,018	98.9	11,382,337,000	11,387,283,000
		介護老人保健施設	7,852,207,000	7,488,311,727	95.4	8,048,642,000	7,544,377,142	93.7	7,325,885,000	7,830,065,610	106.9	7,401,471,000	7,436,660,000
		介護療養型医療施設	498,194,000	245,295,529	49.2	0	244,632,591	#DIV/0!	0	21,074,102	#DIV/0!	0	0
		介護医療院	1,257,865,000	1,349,590,180	107.3	1,820,913,000	1,298,498,670	71.3	2,149,138,000	1,873,293,952	87.2	2,169,860,000	2,163,692,000

区分			R4計画	R4実績	対計画比	R5	R5実績	対計画比	R6計画	R6実績	対計画比	R7計画	R8計画
予防給付	在宅	介護予防訪問入浴介護	932,000	832,586	89.3	932,000	1,164,243	124.9	2,087,000	1,446,485	69.3	2,090,000	2,090,000
		介護予防訪問看護	171,771,000	146,043,314	85.0	178,243,000	144,212,726	80.9	133,924,000	147,631,060	110.2	145,172,000	146,088,000
		介護予防訪問リハビリテーション	35,445,000	27,953,968	78.9	36,575,000	29,462,698	80.6	30,201,000	25,125,503	83.2	31,016,000	31,016,000
		介護予防居宅療養管理指導	21,675,000	23,074,632	106.5	22,181,000	24,850,998	112.0	26,590,000	27,067,240	101.8	26,863,000	27,103,000
		介護予防通所リハビリテーション	580,686,000	550,545,084	94.8	601,425,000	575,932,769	95.8	568,094,000	572,022,394	100.7	573,920,000	578,741,000
		介護予防短期入所生活介護	26,710,000	16,057,176	60.1	28,755,000	13,283,587	46.2	14,807,000	15,078,549	101.8	14,826,000	15,416,000
		介護予防短期入所療養介護(老健他)	1,473,000	1,168,321	79.3	1,473,000	1,354,924	92.0	1,505,000	760,268	50.5	1,507,000	1,507,000
		介護予防福祉用具貸与	302,930,000	323,476,709	106.8	317,213,000	337,304,771	106.3	336,116,000	357,167,084	106.3	339,024,000	341,848,000
		特定介護予防福祉用具購入	21,607,000	19,283,867	89.2	21,933,000	23,157,281	105.6	20,196,000	22,757,056	112.7	22,694,000	22,694,000
		介護予防住宅改修	97,845,000	81,414,069	83.2	100,035,000	88,182,800	88.2	75,275,000	90,670,674	120.5	75,275,000	76,430,000
		介護予防支援	289,487,000	298,042,781	103.0	300,893,000	301,263,549	100.1	307,318,000	312,602,494	101.7	310,332,000	312,957,000
		介護予防認知症対応型通所介護	6,354,000	4,996,125	78.6	6,354,000	5,287,163	83.2	4,236,000	5,613,217	132.5	4,241,000	4,241,000
		介護予防小規模多機能型居宅介護	22,926,000	19,052,931	83.1	31,566,000	19,274,547	61.1	17,406,000	17,292,361	99.3	17,428,000	17,428,000
	居住系	介護予防特定施設入居者生活介護	167,470,000	111,226,352	66.4	165,646,000	110,941,190	67.0	117,953,000	99,584,873	84.4	118,850,000	120,028,000
		介護予防認知症対応型共同生活介護	32,983,000	21,775,909	66.0	32,983,000	16,349,499	49.6	16,356,000	16,044,449	98.1	16,377,000	16,377,000

在宅サービス計			34,848,039,000	33,731,582,288	96.8	36,356,684,000	35,349,331,305	97.2	35,420,064,000	36,459,790,125	102.9	35,843,234,000	36,141,288,000
居住系サービス計			9,220,621,000	9,144,336,559	99.2	9,306,924,000	9,273,487,551	99.6	9,557,426,000	9,492,112,737	99.3	9,656,407,000	9,704,595,000
施設サービス計			20,657,811,000	19,989,382,175	96.8	20,928,196,000	20,167,914,113	96.4	20,957,066,000	21,104,706,553	100.7	21,184,531,000	21,222,361,000
総計			64,726,471,000	62,865,301,022	97.1	66,591,804,000	64,790,732,969	97.3	65,934,556,000	67,056,609,415	101.7	66,684,172,000	67,068,244,000

保険者機能強化推進交付金・介護保険者努力支援交付金

参考資料 1

<目標>

高齢化が進展する中、地域における人口動態等の変化を見据えながら、保険者機能を強化し、高齢者の自立支援・重度化防止の取組を推進する。

<本市の結果(R7)>

・点数／満点

589点／800点

	全国比較	政令指定都市比較
R4	298位／1,741位	9位／20位
R5	47位／1,741位	3位／20位
R6	78位／1,741位	3位／20位
R7	48位／1,741位	5位／20位

【保険者機能強化推進交付金・介護保険者努力支援交付金】

各市町村が行う自立支援・重度化防止の取組に対し、評価指標の達成状況に応じて、交付される交付金。

H30年度、保険者機能強化推進交付金が創設。客観的な指標による評価結果に基づく財政的インセンティブとして、保険者(市町村)による高齢者の自立支援、重度化防止の取組等を評価。

R2年度、介護保険者努力支援交付金が創設。介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより、これらの取組を強化。

最終的な政策目標:高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む **9位**
(100点/200点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・短期的・長期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率が介護度に応じて下位3割～上位3割

<地域包括ケアに関する取組の充実> 政令指定都市順位

目標 ① 介護予防／日常生活支援を推進する **9位**
(73点/100点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・通いの場にて心身・認知機能を維持・改善した者の割合が上位7割(参加者の心身・認知機能の維持・改善の評価を実施していない通いの場がある)
・生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合が上位7割

目標 ② 認知症総合支援を推進する **1位**
(82点/100点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・高齢者人口当たりの認知症サポーター数が上位7割
・高齢者人口当たりの認知症サポーター数、認知症サポーターステップアップ講座修了者数が上位7割

目標 ③ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する **9位**
(84点/100点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・入院時情報連携加算算定者数割合が下位3割
・退院・退所加算算定者数割合が上位5割

<地域包括ケアの構築に向けた基盤整備の推進>

目標 ④ 公平・公正な給付を行う体制を構築する **2位**
(92点/100点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・ケアプラン点検の実施割合が上位5割

目標 ⑤ 介護人材の確保その他のサービス提供 基盤の整備を推進する **7位**
(79点/100点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力に関する研修の修了者数が上位7割
・介護人材の定着・資質向上に関する研修の修了者数が上位7割

目標 ⑥ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする **4位**
(79点/100点)

(全国市町村との比較で見える静岡市の課題)
・後期高齢者数の伸び率と給付費の伸び率の比較が上位7割
(85歳以上の人口増加が、伸び率に影響を及ぼした。(新規認定を受ける平均年齢が85歳程度))



2025年度保険者機能強化推進交付金(成果指向型配分枠)

- 「2025年度保険者機能強化推進交付金(成果指向型配分枠)」
1億1,676万円の対象に採択
- 全国の実組の中で、「しずおかちゃちゃちゃ」が全評価の高い
3自治体の一つに選られ、交付金の対象に選定



- 3年間の事業効果として推計している要介護認定率27%
の抑制、介護給付費0.63億円の抑制に加え、
- 今回の交付金により、次期介護保険料(2027-2029)で
は、市民1人あたり約195円の介護保険料抑制にもつなが
る見込み

保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金の役割分担について

